

東九州メディカルバレー構想について

宮崎県 商工観光労働部 企業振興課 食品・メディカル産業推進室 室長 西久保 耕 史

突然ですが、このトピックスをご覧の皆さんは、「東九州メディカルバレー構想」について耳にしたことがありますでしょうか？

「東九州メディカルバレー構想」というのは、宮崎県と大分県の医療機器産業の振興等を目的として12年前に策定された構想です。構想策定以降、両県をはじめ、関係大学・自治体・企業の産学官が一体となって様々な取組を行って参りました。

今回は、このトピックスをご覧の皆さんに少しでも「東九州メディカルバレー構想」について興味を持っていただきたく、当構想について説明いたします。



当室のメディカル担当者（中央が筆者）

○東九州メディカルバレー構想とは？

宮崎県と大分県に跨がる東九州地域には、血液や血管に関する医療機器を製造する企業の集積という特徴があります。

このような地域特性を活かし、平成22年10月25日、宮崎県と大分県とが東九州メディカルバレー構想を策定しました。この構想では、東九州地域における血液や血管に関する医療を中心に、産学官が連携を深め、医療機器産業の一層の集積と地域経済への波及、更にはこの産業集積を活かした地域活性化とともに、医療の分野でアジアに貢献する地域を目指しています。

また、宮崎県と大分県では、この構想に関して、平成23年12月に国の地域活性化総合特区[※]の指定を受け、平成24年7月に平成28年度末までの特区計画の認定を受けました。その後も構想を推進するため、平成29年3月に第2期目の、令和4年3月に第3期目の認定を受け、各種事業に取り組んでいます。

※ 地域活性化総合特区とは、総合特別区域法に基づくものであり、先駆的な取組を行う実現性の高い区域に国と地域の政策資源が集中します。

○構想の取組（4つの拠点づくり）

東九州地域の特色である血液や血管に関する医療機器産業を活かして、血液や血管に関する医療に留まらず、他の医療分野に関連する医療機器も含めた幅広い医療産業の集積を図り、東九州地域の活性化とアジアへの貢献を目指して、4つの拠点づくりを推進しています。

① 研究開発の拠点づくり

大学内での寄附講座の設置など産学官連携による研究開発の推進

② 医療機器産業の拠点づくり

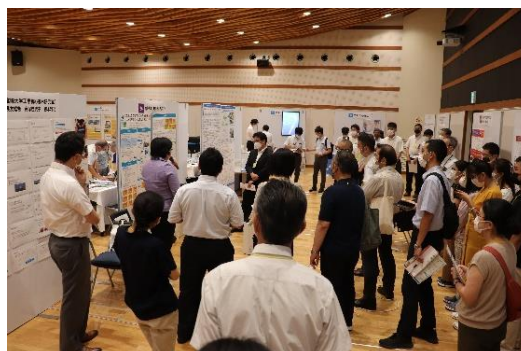
製品の研究開発から販売にいたるまでの県内企業への幅広い支援

③ 医療技術人材育成の拠点づくり

国外での医療人材交流等による人材育成、国内の育成体制整備

④ 血液・血管を中心とした医療関連ネットワークの拠点づくり
中核的医療機関の拠点整備と医療機関ネットワークの構築

また、県内の産学官が連携し、企業の新規参入、取引拡大を推進することを目的として平成23年10月に「宮崎県医療機器産業研究会」を設立しました。設立当初の会員数は32社でしたが、令和5年4月現在では104社に参画いただくなど、着実に取組が拡大しています。



企業、大学間のマッチングを目的として令和4年7月に宮崎大学と共に開催した「ものづくりフェスタ」の様子

○最後に

医療関連機器の製品開発は、患者様に直接影響を及ぼす可能性がある分、薬機法に基づいた高い品質や安全性が求められることから、他業種の製品開発に比べハードルの高い分野です。しかし、高齢化の進む日本において、先進的な医療関連機器を継続して開発していくことは、高齢者の活力ある生活への貢献や、地域経済の活性化に繋がる取組として大変重要な分野であると考えています。

当室はこれからも東九州メディカルバレー構想の推進を通して、研究開発促進や、地場企業の育成と成長、医療技術人材の育成などに取り組み、宮崎県の地域特性を十分に生かした地域産業の活性化を目指します。

<こんなものがあつたらいいな、を形にしませんか？>

企業が医療・介護・福祉機器を開発する上で最も重要なのは、現場からの声を聞くことです。「このような困りごとがあるので解決して欲しい」「このような製品があつたら便利なのに…」といった医療現場からのニーズに基づき、医療関連機器は開発され、実際の現場で求められる製品になっていきます。

業務を行う上で困っていることはありませんか？どんな些細な内容でも構いません。「こんなものがあつたらいいな」がございましたら、是非下記のお問合せ先までお気軽にご連絡ください。

○お問合せ先

宮崎県 商工観光労働部 企業振興課 食品・メディカル産業推進室

〒880-8501 宮崎市橘通東 2-10-1

TEL : 0985-26-7101 FAX : 0985-26-7322

E-mail : shokuhin-medical@pref.miyazaki.lg.jp



宮崎県ホームページ